

# シルバー 人材センター

発行 那須烏山市シルバー人材センター  
〒321-0521 那須烏山市岩子6番地1  
☎0287-88-7731 FAX 88-7798  
URL <https://webc.sjc.ne.jp/nasukara-sc/>

だより



## いきいきシルバー作品展示即売会 女性の会作品が好評

県シルバー人材センター連合会「女性の会」による「いきいきシルバー作品展示即売会」が2月10日(金)から12日(日)にかけて宇都宮市江曾島本町の大規模小売店「アピタ」で開かれ、多くの家族連れでにぎわいました。

本センターのサークル「ぼけっと」も同女性の会に加入していることから出店。毎月2回の活動で制作してきたエプロンや帽子、バッグなどの小物は売り切れが続出し、追加発注が入るほど好評でした。

この展示即売会は、シルバー人材センターの活動周知と会員増を目的に今年初めて開かれたものです。コロナ禍により様々な活動が制約される中、久々に明るい話題となりました。



写真/スーパーの一角に設置された会場は、終始、来場者でにぎわいを見せていました。

# インボイス制度施行の5年度から

## 事務費改定 10% ↓ 15% ↑

令和5年から「適格請求書保存方式」

いわゆる「インボイス制度」が施行されます。シルバー人材センターの会員も個人事業主の扱いですが、ほとんどの会員は年間売上高1000万円以下の「免税事業者」のため、インボイス（適格請求書）を発行することができません。このためセンターは、これまで控除できていた仕入税額を控除できなくなり、新たに消費税を支払う義務が生

じることとなります。

この新たな税負担の財源とするため、令和5年4月1日から、料金（会員への配分金）の「10%」としていた事務費を「15%」に引き上げることになりました。

### 配分金を引き上げ

栃木県の最低賃金が時間額で31円引き上げられたのに伴い、令和5年4月

1日から、センターでも作業内容ごとに応分の改正を行います。

主な作業の「時間換算による標準単価」は、次のとおりです。

- 草刈り 920円 ↓ 950円
  - 除草 890円 ↓ 950円
  - 清掃 890円 ↓ 930円
  - 庭木剪定 1100円（変更なし）
  - 塗装 1200円（変更なし）
- ※事務費（標準単価の15%）、機械使用料、残さい処分代、材料代等は別途です。

何とぞこれらの事情をご理解くださるようお願いいたします。



## ごあいさつ

理事長  
澤村 俊夫

日頃より、当センターをご利用くださるご家庭・企業・団体等の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。また、会員の皆様には、長引くコロナ禍においても依頼主に喜ばれ、信頼される仕事を行っていることに感謝と敬意を表します。

シルバー人材センターは、公益社団法人として、全国に1,300余の団体があり、約70万人の会員が働いています。当センターでも169人(昨年3月末現在)の会員が、自分の体力や都合に合わせて、植木のせん定や草刈り、除草、ふすま・障子の張替え、塗装等の請負業務のほか、運転や事業所等への派遣業務等で働いています。

超高齢社会の中でシルバー人材センターが果たす役割がますます重要になっていると思います。一昨年2月には「栃木県シルバー人材センター女性の会」が発足し、女性会員の拡大や活動推進等を図っております。当センターでもまだまだ女性会員が少ないので、少しでも働きたいという女性の方は是非会員になってください。

会員の皆様には新型コロナ対策をしっかりとしながら健康に留意されて活動されますことをお願いし、また市民の皆様には当センターを気軽にご利用いただけるようご理解とご支援、ご協力をお願いし、ごあいさつといたします。

令和4年度の定時総会が、6月17日(金)、南那須公民館で開催され、127人(委任状73人)の会員が出席し、令和3年度事業報告や令和4年度事業計画・収支予算などの報告案件と令和3年度収支決算などの議事を審議し、全ての案件を全会一致で承認しました。

当日は、澤村俊夫理事長のあいさつに続いて、来賓として出席した川俣純子市長や渋井由放市議会議長が祝辞を述べ、その後、向田の荒井英明さんを議長に肅々と議事を進行了ました。

また、平成27年度から7年にわたって常務理事(兼事務局長)を務めてきた網野榮氏が退任し、後任に水沼透氏を選任しました。

その後、令和5年10月から施行されるインボイス制度について、事務局が概要を説明しました。

### 令和4年度定時総会

## 全会一致ですべて承認



# 再びまちに活気

## 山あげ祭・とちぎ国体に従事 第19回JAまつりに出店



3年ぶりに観客を入れての「山あげ祭」、そして42年ぶりに栃木県で開催された「国体」、これらの記念すべきイベントの裏方として本センターの会員が活躍しました。

また、災害やコロナ禍で4年ぶりとなった「JAまつり」に那珂川町のセンターと合同で「シルバー人材センターコーナー」を出店しました。

7月22日(金)から3日間にわたって烏山市街地で繰り広げられた「山あげ祭」では、機敷席の設置に8人の会員が汗を流しました。また、10月8日(土)から10日(祝)まで緑地運動公園で開催された第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」のアーチェリー競技では、駐車場や会場の案内、バスの運転などに20人が従事し、事業の成功を支えました。

11月5日(土)から6日(日)にかけてJA那須南本店(那珂川町白久)で開かれた「第

24回JAまつり」は、新鮮野菜や展示品、試食会などの店が軒を連ねる人気イベント。特設ステージでは、プロ歌手も出演してファンを魅了しました。本センター会員は、駐車場整理のほか、6日には小物販売や刃物研ぎコーナーに10人の会員が参加。来場者は、刃物を研ぐ熟練の手さばきを見守り、バッグなどの小物を買って求めています。

上から、山あげ祭の機敷席/JAまつりに出店したシルバー人材センターコーナー/国体のアーチェリー競技風景

## 門松がズラリ!

独自事業として県内でも評判の「門松づくり」が今年も7名の会員によって行われ、正月を前に大小合わせて130組の門松を各家庭や事業所などに届けました。

平成3年に始まったこの事業は、センター事業が比較的閑散期を迎える11

## 市長と市議会に要望

公益法人であるシルバー人材センターは、高齢者の就業機会の提供と社会参加の促進、地域社会への貢献など様々な役割を担っていますが、社会経済情勢によって厳しい運営を余儀なくされています。本センターも例外でないことから、8月23日(火)、24日(水)の両日、川俣純子市長と渋井由放市議会議長等に公共事業の発注確保と財政支援を要望しました。



澤村理事長から川俣市長へ



渋井議長・青木副議長へ

月中旬から12月にかけて、技術を持った会員が始めたもの。その後、後継者に引き継がれて今に至っています。

今年も、お得意さんのほか、インターネットを通して知った新規顧客からの注文が殺到し、会員達は、連日、作業に汗を流していました。

写真/完成した門松がズラリ。それぞれ丁寧にお届けしました。

環境美化に一役買いました

# 奉仕作業に快汗

本センター恒例の奉仕作業が10月15日(土)、市役所南那須庁舎から保健福祉センター、図書館、公民館にかけての公共施設で繰り広げられ、74人の会員が秋晴れの中、さわやかな汗を流しました。

作業は、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせてセンターの普及啓発と環境美化、地域貢献を兼ねて行っているもの。会員達は、約3時間にわたり、手慣れた様子で除草、芝刈り、草刈り、植木のせん定等の作業を行い、一帯は見違えるようになりきれになりました。



秋空の下で奉仕作業に汗を流す会員

## 会員募集中!!

### お仕事したい方へ

シルバー人材センターでは、市内在住で60歳以上の健康で働く意欲のある方を募集しています。みなさんの知識と経験を活かしてみませんか。

- 働けるうちは働きたい。
- 地域の人の役に立ちたい。
- 半日くらいなら働きたい。
- 軽作業ならできる...など。

## お仕事のご用命は

—まずはお電話ください—

那須烏山市シルバー人材センター ☎0287-8817731

### 主な仕事

- 植木の手入れ
- 草刈り・草取り
- 塗装・大工仕事
- 障子・ふすま・網戸の張替え
- 農作業の手伝い
- 除草剤・殺虫剤の散布
- 屋内・屋外清掃
- 食事・洗濯等の生活援助
- 刃物研ぎ
- 衣類の裾上げ
- 宛名・賞状書き

### 仕事の流れ

- ①お電話などで仕事のご依頼
- ②必要な場合は下見・見積りの上、会員が就業
- ③就業後、履行確認を受けたのち、請求書を送付
- ④指定口座かシルバー窓口で支払い

- 空き家・空き地管理、墓地清掃
- 運転業務【派遣業務】
- 事業所・工場の軽作業【派遣業務】

※繁忙期は、発注から作業までに時間がかかります。お早めにお申し込みください。

### 《私の趣味》

## 満喫！セカンドライフ

荒井 弘 会員 (向田)



ドッドドッドドドー！憧れのハーレーを手に入れ、仲間とツーリング！  
大内宿のネギ蕎麦、会津若松のソースかつ丼、喜多方のラーメン、大津港の海鮮丼、沼田街道の焼きとうもろこし、平田村のジンギスカン、白河のラーメン等々…  
昼めしの旅を、時には独りグルメを、バイクで満喫しています。

### 《編集後記》

○コロナ禍で生まれた新習慣だが、政府の方針を受けて、ついにマスクなしの卒業式も実現。3年間マスク生活を送った児童・生徒からは、「初めて見るような顔で新鮮」と喜びとも不安ともつかない声が漏れた。  
○花粉症もあって、まだまだマスクは手放せないが、シルバー世代としては感染への不安は尽きない。  
○感染といえは、先日、ラジオを聞いていたら、ママが風邪でダウンしたという投稿。おしゃまな娘の「ママの見舞いに行きたいけど、一緒に住んでいから無理!!」という一言に思わずニヤリ。  
(広報委員会)